

“マルスウイスキー”が「信州ブランドアワード 2015」で 企業・事業ブランド部門賞を受賞

本坊酒造株式会社(本社:鹿児島市、社長:本坊和人)のブランド「マルスウイスキー」が、平成 27 年 11 月 13 日開催、信州ブランドフォーラム開催実行委員会(長野県デザイン振興協会、長野県他)が主催する「信州ブランドアワード 2015」において、企業・事業ブランド部門賞を受賞致しました。

<マルスウイスキーについて>

本坊酒造は、1949年、鹿児島にてウイスキー製造免許を取得以降、1960年、国産ウイスキー創生の一翼を担った岩井喜一郎氏の設計・指導のもと、山梨工場(現、山梨マルスワイナリー)で、ウイスキー蒸留設備を竣工、「マルスウイスキー」のブランド名で、数々のウイスキーを生み出してきました。1985年、「日本の風土を活かした本物のウイスキー造り」を目指し、更なる理想の地を求め、日本アルプス山系、駒ヶ岳の麓にある長野県上伊那郡宮田村に、信州マルス蒸留所を竣工(蒸留釜など設備を移設)、ウイスキー需要低迷期にモルト原酒の蒸留を休止していましたが、2011年に蒸留を再開。2013年、ブレンデッドモルト・ウイスキー



「マルスモルテージ 3プラス25 28年」が、世界的ウイスキーコンペティションである「ワールド・ウイスキー・アワード(WWA)2013」において、世界最高峰の「ワールド・ベスト・ブレンデッドモルト・ウイスキー(World's Best Blended Malt Whisky)」を受賞。2014年、19年ぶりに蒸留されたモルト原酒から“復活”を期して待望のシングルモルトウイスキーをリリース。同年、半世紀以上経過した蒸留釜を更新。近年、事業活動を大きく拡大しています。

○信州ブランドアワード2015選考講評 企業・事業ブランド部門賞「マルスウイスキー」

信州の理想的な環境において長い年月熟成させることで、世界的に権威あるウイスキーコンペティションで世界最高峰の賞を受賞した、他には真似できない唯一無二の価値あるウイスキーを育てている「志向性」「地域性」が特に高く評価されました。蒸留所内工場見学施設を開放しての情報提供や、海外まで展開するセミナー、プレゼンテーション活動といった積極的な「情報伝達性」も評価されました。

<信州ブランドアワード 2015 について>

信州ブランドアワードは長野県の産学官が協働して“信州発”の優れたブランドを選定・表彰する事業です。信州・長野県の豊かな地域資源を活用して、独創的で良質な商品やサービスを確立し、広く情報発信しているブランドが対象です。県内のブランドづくりを促進して信州の好感度を高め、地域産業・社会の自立的な発展に貢献することをめざしています。個別ブランド部門、企業・事業ブランド部門、地域ブランド部門の3部門で「志向性」「表現性」「情報伝達性」「地域性」「継続・発展性」の5つの指標で選考し、「大賞」「個別ブランド部門賞(本年度は該当なし)」「企業・事業ブランド部門賞」「地域ブランド部門賞」「長野県知事賞」が選出されました。

【本件に関するお問い合わせ先】

本坊酒造株式会社 経営企画本部
〒891-0122 鹿児島市南栄3丁目27番地
(TEL) 099-822-7003 (FAX) 099-210-1215